

項目	ご意見	対応
<p>第3回部会までの意見</p>	<p>① まちの将来像に対してみんなが言いたいことを出し合っただけなので、検討や議論はしていない。合意形成もできていない。これがまちの将来像だと思われるのは大きな過ちを犯すことになる。本当にどういうまちづくりにすべきか議論が足りないと思う。このテーマに魂が入らなければ、後々議論が錯そうした時、各々の思いがぶつかり、とんでもない方向に向かってしまう危険性がある。まちづくりの将来像を描くことが最重要課題として取り組むべきとの認識が必要である</p> <p>② 過去質問した項目や提案に対して回答が無い。回答を下さい。またなぜ回答が無いのですか？</p>	<p>①まちの将来像は、今後のまちづくりを話し合ううえでの指針となるものと考えます。第4回部会ではこれまでみなさまからいただいた意見を基に事務局で取りまとめたものを検討していただきます。</p> <p>②個別にいただいたご質問に関して、現時点では明確にお答えできないものもありますが、できる限り回答できるよう努力していきます。</p>
<p>検討内容</p>	<p>地域別グループ分けにより、幾世橋地区の将来像を具体的に検討したい。これにより、自分の役割が見えてくると思う。</p> <p>① 事務局からのまちづくりに関する報告について 平成29年3月に避難指示解除するために必要な重要項目の進捗状況は全て中間報告すべきと思う。今回の部会以降から見やすくするために重要項目を一覧表(2~3枚)にして概要がわかるようにしておいて欲しい。ただし、計画と実績及び差異分析結果が記載されていること。今回の報告項目に仮置き場の進捗状況を必ず入れて欲しい。当然のことながら、政策を実行するためには、人、モノ、カネ、情報、機能の整理、組織の整備が不可欠である。その視点からの差異分析が必要である。</p> <p>② 第3回部会までの振り返りととりまとめ 今回の部会に事務局から「まちづくりの目標案」が提示されるとのことだが、一番大事なところなので、議論ができる時間をとってほしい。また、総花的な目標案にならないようにしてほしい。</p> <p>③ まちづくりの前提条件を明確にしないと絵に描いた餅になってしまうので、前提条件を明確にしてください。もし、明確になっていないのであれば、前提条件を作る検討時間をとってほしい。</p> <p>④ 私の理解では、前提条件がないと実現性のあるまちづくりの目標案ができない、まちづくり目標案が無いと復興拠点の必要な機能の整理ができにくいのではないかと思う。</p>	<p>ご意見から、第4回部会を地域別グループとさせていただきます。</p> <p>①今回から、まちづくりに関する進捗状況を報告することとします。資料についてもできる限り簡潔にかとめたものを提示できるようにしていきます。計画と実績の分析については、「町民協働による進行管理部会」の情報を共有してまいります。一方、様々な視点からの完璧な差異分析については必要であるとは認識しておりますが、不透明な点や膨大な作業量が予測されることから現時点では困難であると考えています。</p> <p>②今回の部会にて事務局案を提示し検討いただきます。</p> <p>③、④(避難指示解除の)前提条件については、明確になっていない点が多くありますが、町として検討していく必要があると考えています。</p>
<p>検討内容</p>	<p>①指定テーマ1【復興住宅】 浪江町を活性化させ、ゴースタウンにしないため復興住宅建設問題を検討する。「集中案」にしても「分散案」いずれにしても、町機能の集中化をはかる。</p> <p>○「集中配置案」 現権現堂の市街地を、更地として復興住宅を集中配置する。 [1次計画時] 「現段階H25.9」 空き家 更地案→除染効果がある。 区画整理 → 区画整理しやすい。 除染 →孫子の為の新都市</p> <p>○「分散配置案」 現市街地の住宅施設は再利用する。 浪江町のこれまでの、歴史文化、風土を大切にしまちづくり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の再活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>売却・賃貸</li> <li>住居以外の用途へ転用 (サテライト型グループホーム等、宿舎、寮、戸建住居希望者に売却)</li> </ul> </li> <li>・空き家の多い街区は、空き家撤去後 大型施設誘致(研究所、病院等)</li> <li>・建設候補地             <ul style="list-style-type: none"> <li>町有地(大平山、北幾世橋工業団地、)</li> <li>公有地(6号線に人工地盤かけて宅地)</li> <li>私有地(旧若林工場跡地?の可能性、農地転用)</li> </ul> </li> </ul>	<p>今回の検討内容となっております。話し合いの参考とさせていただきます。</p>

項目	ご意見	対応
検討内容	○「新都心案」 復興住宅の建設に伴い、町機能(行政、商業、医療介護等)の整備が必要となる。 役場を中心とした新都心の検討が必要。 ○「協議時必要資料」 具体的な協議をするため、現状把握につとめる。 空き家 概数把握 権現堂・幾世橋 休耕田等 帰町者 概数把握 復興拠点内、町内他地区、他町村、事故第一原発就労者 住居形体(戸建・共同住宅)	今回の検討内容となっております。話し合いの参考とさせていただきます。
	②指定テーマ2.【一時宿泊施設】 「いこいの村・出口の湯を一時宿泊施設とする」 土地利用計画は、いこいの村、出口の湯のエリアは、保養・医療・介護・福祉ゾーンとして検討する。「帰町しない人の住居や旅館・ホテル等の再利用する」	今回の検討内容となっております。話し合いの参考とさせていただきます。
	①復興拠点を検討 ②復興公営住宅、一時宿泊施設等について	今回の話し合いのテーマとさせていただきます。
	復旧・復興の事業種目別7の年度別計画が策定されていると思います。これらに対応した実施工程表。この工程が現在どこまで進捗しているのかを比較することが必要だと思います。 そこで、現在どの程度まで進んでいるのかを工程表で状況を示していただき、その上で検討作業に入るべきと思います。 今現在、早急にやらなければならないものを、現実路線に沿って議論すべきと思うが・	今回の部会にて、公共インフラの復旧工程について現状報告させていただきます。
	①復興に逆行する考えですが、まず現時点で、町民は何を望んでいるのか再検討する。考えた上で、出来る事から急がないで進める。 ②町に戻らないと判断した意見をどう考えるか。 ③東電とどのようにして共存するのか。 ④町民同士の情報の共有(新フォトビジョンの有り方)	①町民の委員であるのならばアンケートを基に検討していきます。 ②～④避難指示が解除された時点でのこういった視点も今後検討してまいります。
	帰還に向けて何が必要か。復興住宅・一時宿泊施設や高齢者の帰宅向けの施設(老人独居者の夜間の宿泊用)などを重点に決めていくことが必要でないと時間だけが進んでいく。	今回の検討の中で高齢者等対象者を踏まえた住宅整備について話し合っていきます。
	帰還準備には緩衝地帯を設定し、安全・安心を確保し、外部に対してもアピールできる形を作る。インフラ整備上で、重要ポイントの抽出をする。	緩衝地帯については今後の話し合いで考え方を整理する必要があると考えられます。
	状況報告はよろしくお願ひします。 復興公営住宅・一時宿泊施設のテーマに絞って内容を深めるべき。 少しでも現実化に向けて検討すべき。	ご意見に基づいて今回の部会を進めていきます。
	①テーマ復興拠点の具体化という意味で、将来を考えて”利便”重視。駅の南側、新体育館、ふれあいセンター等施設を利用。 ②”放射線量”の低さを重視。役場を含め、6号国道東側、東中学校、貴布弥等を利用。 ③北棚塩地区の更地に新たな復興住宅建設。	今回、今後の部会での話し合いでご意見を反映していきます。
	グループ分け方法	事務局案のとおり、浪江町の地域別のグループ分けがよい。 検討する議題によっては、専門別に分けることも有りと考えます。
事務局提案で結構です。 ただし、まちづくりの目標案検討を十分行う時間をとってください。		今回は事務局案のとおりグループ分けさせていただきます。まちづくりの目標の検討も時間を確保します。
地区的問題のウエートが高くなっているため、地区的グループ分け一度実施されたらいかがでしょうか。人数の少ないところは隣接地区合同とする。権現堂は土地等の所有者で帰町を明言している人たちのオプザバー的参加も必要ではないでしょうか。		ご意見のとおり、今回は地域別グループとしました。 今後は地区の方々による話し合いも必要になると考えています。
検討内容をテーマごとに決めて各委員の希望ごとに分ける。(継続的なグループにする)		地域別グループへの賛同が多かったため、今回は事務局案のとおり進めさせていただきますが、今後検討グループを分ける際の参考とさせていただきます。
帰還がいつになるのか、行政区ごとの帰還の可否を明確にする、と定める。 帰還が遠い将来ならば、今を生きる我々にとって帰還という事にはならないのではないか。なぜなら、津波被災者は、全てを失い住む場所・土地がないのだから。遠い将来のまちづくりよりも、まずは優先的に津波被災者たちをどうするかだと思いますが。また、浪江町民でありながら、津波被災者で原発被災者でもあるが、東電賠償は対象外。よって、津波被災者地区のグループ分けを希望します。		今回は、津波被災地域の委員と隣接する地域の委員でのグループとさせていただきます。
①地域ごとに分ける。 ②町民意向調査に基づいて分ける。		今回は①としました。

項目	ご意見	対応
	<p>地域別グループと他町村との関わりを検討する事も必要でないか。</p> <p>①テーマごとに分ける。 ②年齢構成別を半数づつ入れ替えしてみてもどうでしょう。</p> <p>出身地別にして話し合いを持ちたい。 (具体的な計画を練るために)</p> <p>バランス的に3分割7出来る人員であれば、①解除準備区域、②居住制限区域、③帰還困難区域。とりあえず、今回は事務局案で良いと思う。</p> <p>7項目に分けて具体的な検討を行いたい。</p>	<p>他市町村との関わりも今後の検討課題であると考えます。</p> <p>地域別グループへの賛同が多かったため、今回は事務局案のとおり進めさせていただきますが、今後検討グループを分ける際の参考とさせていただきます。</p> <p>ご意見のとおり、今回は地域別グループとしました。</p> <p>ご意見のとおり、今回は地域別グループとしました。</p> <p>地域別グループへの賛同が多かったため、今回は事務局案のとおり進めさせていただきますが、今後検討グループを分ける際の参考とさせていただきます。</p>
全般	<p>除染、インフラ復旧見込み、復興公営住宅の進捗状況、事務局の状況報告を詳しくお願いしたい。 それを踏まえ、29年3月末の時点での町の姿全般をイメージしたいと考えます。</p> <p>① 進行管理部会の状況を教えて欲しい。特に第4部会の検討内容の①について。私たちは第1次復興計画を作ったが、振り返りを行っていないので、何が良く何が悪かったのかわからない。このままと同じ過ちを今回の計画で作ってしまう恐れがある。</p> <p>② 今までの進め方についての反省すべき点 ・ 最初にも書きましたが、項目によって徹底的に議論すべき項目、集約すべき項目等がありますので、めりはりのきいた進め方が必要に思います。 ・ 何が重要項目で何が重要項目でないかの仕分けが必要に思います。第3回の各グループのまとめをみてもばらばらです。なぜこういう事態になっているのかを振り返りする必要があります。 ・ 今回意見提出票が配布されましたが、事前に意見聴取することはよいと思います。1次復興計画作るときはこのようにしていました。良いことは継続して欲しいものです。これが私たちの力の底上げにつながっていきます。余談ですが、復興委員会以外の会議は、当日資料配布することが多いです。なぜ役場内で復興委員会のやり方が水平展開できないのでしょうか？</p> <p>③ 以前商店街の方たちがまちづくりを検討していると聞きましたが、商店街も含め現行組織との情報交換をどう進めていくべきかを具体的に検討し、実行に移していかなければならないと思います。そうしないと私たちの計画は途中でとん挫する危険性ははらんでいます。 ちまたには、第1次復興計画は浪江町に限らず、絵に描いた餅と揶揄されていることを耳にします。何としてもこういう風潮を消さなければなりません。そのためには、<b>実現可能な復興計画を作らなければなりません。</b></p> <p>④ 請戸の危険度評価地域及び移転促進地域指定の有無のウツリ、範囲は、及水部すべてかどうか指定の有無によっては、請戸の土地利用計画に大きな影響がでるものと思われる。居住できる地区と出来ない地区の土地利用はおのずから変わるはずと考える。</p> <p>⑤ 東北電力棚塩用地150ヘクタール問題 町の活性化のため、海岸部とはいえ、土地利用上の空白部をさける、火力発電等により、町の産業振興の起爆材となることを要望。</p> <p>⑥ 津波被災地の土地利用(ふるさと再生課広報) 復興事業の問題 ふるさと再生課の広報によれば、津波跡地の土地利用についてのイメージは出来上がっているようです。とりわけ「太陽光パネル」については、昨年の1次計画時においても再生エネルギーゾーンで太陽光パネルのイラストがはいってましたので、事業決定かと思われます。この太陽光パネルについては、ご承知のように、海岸線から500mはなせば問題ないことになってはいますが、念のため御担当者が確認されてたいと思いますが、十分な調査が必要と考えます。今後再生エネルギー利用の復興事業は出てくるものと思われると思いますが、町の取り組方針ありましたら御教示ください。 1次計画では様々な復興事業について、「利用可能な制度等」まで検討されています。今回はこれらの事業の具体的な検討段階であろうと考えます。鈴木委員長も「現在どのような事業制度の中で、この委員会が動いているのか、双方向の議論が重要」と話されています。加えて、長野県飯田市のように、ソーシャル・ビジネスをも検討する事も必要と考えます。</p> <p>東電の事故収束作業が無視されての議論となっているのではないかと。もっと現実路線を見つめ直しながらの議論であるべきと思いますが。 復旧復興が円滑に進んだと仮定しても、東電の事故収束の影響により津波被災地区の復興は、最後の最後になってしまうのではと危惧せざるを得ない。参考までに、徐々にではあるが新たな地に生活の拠点を移している世帯は、私の行政区内では25%となっています。</p>	<p>今回の部会にてまちづくりに関する状況を報告させていただきます。</p> <p>① 進行管理部会は9月30日に開催する部会の後に提言がまとめられることとなります。第5回部会で結果をお示しいたします。 ② 今後の部会運営の参考とさせていただきます。 ③ 「浪江宣言」のことと思います。こういった計画の良いところは取り入れながらまちづくり計画を策定していきたいと考えています。 今回策定するまちづくり計画も、絵に描いた餅とならないよう、委員のみならずと一緒と考えていきます。</p> <p>①、③ 今回の部会にて津波被災地域の方向性についてご報告いたします。 ② 今後のまちづくりで重要な位置を占める土地であると認識しております。土地の所有者である事業者等との調整が必要であると考えています。</p> <p>決して福島第一原子力発電所の状況を無視しているわけではありません。そういったことも念頭に置きながら、まちづくりを検討していきたいと考えています。</p>

項目	ご意見	対応
	東電及び政府の人の考え方を復興の参考にできないものか。	町では、国としての放棄地方の復興のグランドデザインを描くことを求めています。未だ納得できるものが示されない状況です。
	具体的に一步二歩進めるため帰還に向けた住宅施設を一つ一つ協議し、短時間に進めるための手法・考えを整理しながら、グループ分けはその都度問題を促した形	今回からテーマを絞って具体的に話し合いを進めていきます。グループ分けについてもその都度最適なものとしていきたいと考えています。
	町民協働進行管理部会との情報共有が必要である。	第5回部会で進行管理部会の結果をお示いたします。
	前回、鈴木先生が最後に言われたように、町長はじめ町が復興に関して、今後どのように進めようとしているのかも聞く機会が毎回ほしいと思います。	ある程度計画書がまとまった段階で、町長等の話を聞く機会をつくっていききたいと思います。
全般	<p>浪江町で生まれ、浪江で育ち、浪江で仕事し、結婚し、子供を2人育て、認知症の母を看護し、孫2人を見ながら浪江で終わる。被災して3月15日まではそう思っていました。</p> <p>富山の弟のところに行った母は、今年8月19日に被災後初めて浪江の墓参りで会いました。すっかり白髪のおばあさんでした。</p> <p>私は、4人目の孫が生まれます。その孫たちの成長を楽しみに、あと20年は頑張りたいです。</p> <p>浪江小学校のプール側が私の実家。皆が集まれる場所。 「平地にして・・・」の話し合いには同席しているのがつらいです。</p> <p>誰よりも浪江に帰りたい。浪江しか知らない人間です。</p> <p>私の実家は、浪小のプールの側。私が小学校の頃、北校舎のとき、忘れ物は窓から持ってきてもらい・・・先生方は、我が家のイチジクの木が一番熟れ時を知っていました。</p> <p>今の校舎になって、運動会、プール大会、マラソン大会の応援には一等地でした。</p> <p>孫が浪小1年になり、校庭が芝になり、プールも家から応援でき、認知症の母も喜んでいました。</p>	権現堂地区は今後復興拠点の一部として重要な位置を占めるものです。ぜひ今回の話し合いでお考えをお伝えいただきたいと思っています。
第3回部会議事概要への意見	<p>16頁発言補足</p> <p>放射能の問題は、国の問題、東電の問題である。技術者として何か提案できないか。放射能シールドや災害に強い源発施設など。→今回災害の元凶である第一原発の、万が一廃炉帰還中に事故があっても、外部に被害をさだないように施設の安全化を国に強く要求しようとの意でした。汚染水問題にしても、外国の圧力がかかって始めて350億の税金を使って、国が前面にでる事となりました。</p> <p>第一原発の廃炉期間中に汚染水に限らず、地震げ壊れた建もキチンと整備し、廃炉期間中になにがあっても外部に放射能等を出さないよう強く要求しようとの意味でした。国がやる気になれば出来ないはずはありません。いわゆる専門家は我が身かわいさで、言い出すことはないでしょうから、事故になれば。被害を受ける人たちが言い出しましょうとの意味です。言葉足らずでしたので補足します。</p>	補足ということで、本資料の配布により代えさせていただきます。